

「学校の掃除は生徒がする」あなたはYes? No?

弓削中学校の生徒は、いつも一生懸命掃除に取り組んでくれます。決められた時間前から取りかかり、おしゃべりもせず、時間いっぱいまで手を休めず活動しています。朝の始業前にも掃き掃除をしてくれている人もいますなど、大変素晴らしい活動ですね。

上島町の町内でも、道路や公共施設を掃除している人の姿をよく見かけます。きっと小・中学生もいい影響を受けているのだろうと思います。

さて、世界105か国の掃除に関する調査によると、学校の掃除を清掃業者に任せているところが約65%。中でも日本のように、毎日決まった時間に掃除するのは、世界でも少数なのだそうです。掃除は業者に任せの方がいいですか、それとも自分たちでした方がいいですか。



世界を驚かせた日本人のよき習慣

サッカーのワールドカップは4年に一度開催されています。出場国の応援のため、各国からサポーターが集まります。

2014年の本戦の開催国はブラジルでした。日本代表も出場し、応援団が駆けつけました。大切な初戦の相手国はコートジボワール。結果は2:1で逆転負けを喫しました。試合内容も、選手もサポーターも納得のいかないででした。しかし、そのような逆境にあって、多くの国々が日本をほめたのです。何についてだと思いませんか？



それは、掃除です。多くの国では、ひいきのチームがふがいない戦い方をしたとき、サポーターは激怒します。物を投げたり、ひどいときには施設を壊したりすることもあります。しかし、日本のサポーターは違いました。彼らは、試合後自分たちの応援エリアを自ら掃除して帰ったのです。この様子は世界中に報道され、称賛の声が上がりました。

「ゴミ袋を使っての応援と掃除、日本人が見本を示した。」

「すばらしいという言葉しか見つからない。あなたたちがワールドカップ王者だ。」

なぜ、日本人はこのような行動を取れたのでしょうか。いろいろな意見の中で、「日本人は学校を自分たちで掃除しているから」というのもありました。日本の学校での掃除の様子を知った海外の人たちには「素晴らしい考え方だ」と驚く人がたくさんいます。「子どもによる掃除だけだとできない部分もあるから、週に一度くらいは業者を入れた方がいい」と発展的に考える人もいます。

日本を訪れる外国人から見て、日本の街がいつもきれいにされているのは驚きの一つだそうです（欧米では公共の場でもポイ捨てが多いそうです）。私たちが小学校時代から当たり前のようになってきた「自分たちの場所は自分たちできれいにする」という習慣。これは、古くから日本人が当たり前に行ってきたことですが、それが今世界から称賛されています。「チームワーク」や「自主性」にもつながっているのかも知れません。

世界に誇る日本人の習慣と、それを支える精神をこれからも大切にしていきたいものです。



